

# 碩 心

社団法人 日本詩吟学院 岳風会 認可  
神奈川 碩心 会 発行

11年10月現在 逗子地区 葉山地区 大船地区 (合計)	会員数 131名 183名 31名 345名	11年10月 (327号) 発行者 千 葉 岳 関 編集者 白 井 岳 麗
--	------------------------------------	---

## 行事予定

- 葉山町文化祭オーブニングセレモニー  
日時・10月30日(土) 13時30分より  
会場・葉山町福祉文化会館ホール
- 高段者追加講習会  
日時・10月31日(日)  
場所・葉山堀内会館  
受付・12時45分、開始13時  
九段 三名、十段 一名
- 葉山町文化祭 (詩吟詩舞連盟)  
日時・11月3日(祭) 午後1時より  
場所・葉山町福祉文化会館ホール
- 逗子文化祭 (詩吟詩舞連盟)  
日時・11月23日(祭)  
場所・逗子図書館ホール 3階
- 県本部最終理事会(納吟会)  
日時・11月27日(土)  
場所・横須賀労働福祉会館
- 碩心会初吟会  
日時・平成12年1月9日(日)  
場所・逗子会館 1階

## 昇段審査について参考事項

碩心会会長 千葉 岳 関

指導者グループの一員であり、また総本部  
審査代行員の立場にある者として、会員の方  
に参考事項を次の通りまとめてみた。

一、当会ではご承知の通り会長千葉岳関、副  
会長加藤岳洵、顧問加藤岳相の諸氏が会の指  
導者の一員として教場を持ち、日常指導にあ  
たるほか、総本部からの審査代行員を委嘱さ  
れている。この三氏は当会の審査のほかに、  
県本部所属の各会から依頼を受けた際はそ  
の会へ審査代行員として出向き、それぞれ講評  
を行ない、場合によっては合否判定の総括等  
をも行なっている。

この現状において審査の公正を一層期する  
ために、必ず他の審査代行資格の先生を最  
小限一名お招きして総括して頂いている。

指導者であれば、会の受審者が常に好成績  
で合格することが、何よりも喜ばしいこと  
であることは言をまたないところである。

二、当会における現行審査会実施の状況

- (1) 初段〜八段までは春季、秋季の二回実施。
- (2) 皆伝以上は恒例として毎年11月に県審査

委員会の講習が行なわれ、その受講済みの者について翌年2月頃に、審査が行なわれている。

(3) 新らしい制度として皆伝以上は、受講該当期に80才に達する者は、当会の秋季審査会において受審が認められている。

前記の(2)については欠講の場合厳しい制限があり、無断欠講はあとの受審ができないのが現行の原則的措置となっている。

三、審査会に於いて良成績を得るには如何にすべきか考えてみよう。

受審に当っては何に留意すべきかを少しくあげて、勉強の資にしていきたい。

また、こうした留意事項の表現努力の程度が即、講評にはねかえることでもあり、常時指導者と共に工夫の要るところである。なお一般的に俳句、新体詩の表現について一層努力が必要との結論が出ている。

(1) 岳風流の吟であるかどうか。

岳風先生の作符はその詩境を表現しているもので、符の変更表現は許されない。

これは極めて大切で、二句三息の正しい理解と併せて重要である。

(2) 吟じ出しの的確さに努力する。

出だしの高さがすべてを決定的にすることが多い。節のきれいき、音の正確さだけではうまくやれないのである。

漢詩なら起承転結が、和歌なら序詠、本詠がなめらかに吟詠できること。俳句、新体詩なら主音となる部分の声の出し方などの研究が必要である。

(3) 姿勢の重要性を認識すること。

呼吸の調整、息、声、間を的確にするのは姿勢によることが多いのである。

(4) 発音の的確と腹式呼吸法

口を十分に開き、アイウエオの正確な出し方を工夫し、呼吸法の十分な訓練。

(5) アクセントの一層の研究が必要である。

結局は心を集中し、作者の気分になる努力が絶対に必要であり、岳風流を学ぶ者の必須条件であろう。

一節、二声、三品位と詩の理解、その表現努力の積み重ねに尽きると常々私の考えているところである。

(文責会長)

## 楽しく吟道にひたる仲間たち

逗子B 新井 国山

「逗子B」は村田岳瀨先生を中心に、磯村朋岳、田辺伯岳、小池和岳、海津勝風、神藤葉風氏など、八名のグループで毎週水曜日の午後、逗子体育館集會室に教室が開かれます。

今もかくしゃくとして、吟への情熱をもち続けておられる二井岳瀨先生のとを引き継がれた村田先生は、旺盛な行動力と、若々しい精神力でグループを纏めておられます。

教室は、両先生の人柄そのままに「明るく楽しく」をモットーに笑いが絶えません。

しかし指導はやりわり厳しく、特に吟道精神の涵養と、腹式発声、詩の表現力に力点が置かれます。

レッスンの合間に、漢詩や和歌など作者の人物像や当時の歴史観などを話し合うのも楽しみですし、また、教室の隣が小学校なので、校庭の子供達の声がにぎやかな時など、むしろ心がなごみ、平和に詩吟ができる幸せを感じるひとときもあります。

ちよつと自慢ばなしになりますが、師匠ゆずりの高音、美声の主が多く、出席率の高い

のも特徴です。熟年層の多いなかで、詩吟を健康の妙薬と親しむ心がそのゆえんかもしれない。

親睦と社会勉強を兼ねて、年に二、三度は仲間でも所探訪や観劇、移動授業などを行い好評です。今春、南房総の「花と吟の会」を企画し、州崎灯台で相模湾を望んでの合吟やフラワーラインのドライブを楽しみ、夏は逗子高齢者センターに教室を移動して、慣れない和室でのレッスンにいつもと違う落ち着きを味わいました。

詩吟と申しても趣味の会ですから、楽しいことが第一条件ですが、お互いに吟道本来の目的を基本に意識していることが、和気あいあいの雰囲気を保つ理由のように思います。もう一つ明るい話題は、久しく絶えていた入門者の出現です。しかも男性で、小坪にお住まいの野沢宏氏です。以前、大分たしなまされた様子です。

みんなで明るく錬成していれば、いつかは素晴らしい新人に恵まれると信じていたことが実現した次第です。

## 長柄教場の昨今

長柄 笠原 岳 珠

永年にわたりご指導いただいたておりました竹石先生が、体調をくずされ、昨年の秋二度の入院を機に退会を決断されました。

三カ月位の間、生徒のみで練習に励んではおりましたが、折角志をたてて入会したばかりの人や、審査の近い人もおり、年功ばかりで不勉強の私には到底指導の自信はなく、教場の皆様の要望をまとめ千葉会長にご相談した結果、後任として加藤岳相先生にお願いすることになりました。

先生には大変お忙しいところを快くお引き受けいただき、今年一月より長柄教場の指導を担当されて以来、教場は心機一転活気が湧いてまいりました。

古参も新人も心新たに目から鱗が落ちたような気分、加藤先生のご指導のもとに張り切っております。

昔から長柄教場は「和気満堂に溢る」と言え、格好が良いがのんびりと、和気満々で、詩吟が好きだから習っている位で、上達も進級も余り気にしない人ばかり、私もその中の

一人で、生涯学習、生き甲斐対策のつもりで少しでも皆さんのお役に立てば良いと支部長の仕事をつとめさせていただいている次第です。

## 短歌

長 島 玉 岳

夜明け前闇の中にて美しき

虫の競演どこまで続く

黄の落葉乗せて静かに流れくる

小川辺歩み秋を知りける

小 池 和 岳

オホーツク移住希望者対象の

二泊三日の旅に娘と行く

## 俳句

石 渡 岳 桂

波音も秋のリズムに白かもめ

Tシャツをたたみて秋の風となり

三 壁 照 岳

柿すだれ秩父連山夕づける

戻りて花野の風の奔放に

## 中国の寒山寺に旅して

栄支部 岡本 端 岳

息子夫婦に誘われて中国の旅をした折りに、唐の詩人張継の七言絶句「楓橋夜泊」に詠まれている寒山寺を訪れました。

寒山寺は東洋のベニスと呼ばれる景勝地、蘇州の西郊外3.5軒程の間門外、楓橋鎮にあります。

蘇州は、約二千五百年程前の春秋時代に呉の国の首都になったところで、隋代に京杭大運河（北京と杭州の間）が通じてからは、政治、文化の中心となったところです。

町には水路がはりめぐらされ、園林や塔、橋などが彩りを添えてとても美しいところです。昔から政治家だけでなく、多くの文人が集まったと言われています。きつと、李白や杜甫もこの辺を散策したことでしょう。

寒山寺は古く五世紀の創建で、もとの寺名は「妙刹普明塔院」でした。

寒山寺と呼ばれるようになったのは唐の時代からで、一時住持であった寒山と拾得を以て改名されました。

寒山、拾得は、天台山国清寺の豊干の弟子

で、文殊・普賢の二菩薩の生まれかわりと言われた高僧です。詩人としても、悟りの境地と幽邃な山景を重ねた格調高い詩を作っています。また隠者でもあり、現世の愚劣さや、墮落した僧侶や道士を批判した詩もあり、奇行も多かったと言われています。

後世、中国画の画題とされ、多くの画家に描かれています。

寺内に大殿、藏経楼、寒山、拾得の金銅像や石碑、張継の七言絶句ゆかりの鐘、鐘楼、詩の碑文などがあります。

観光客に鐘をつかせたり、碑文の拓本を販売したりしています。

山門の前にある石造りの橋が楓橋かと思いましたが、この橋は江村橋で、本物の楓橋は更に北西方の楓橋湾をまたいでいるものだそうです。

鐘の音を聴きながら、当時をしのび、詩の心を味わって、寺をあとにしました。

### 入会

231 大塚一寛 横須賀市久里浜台二一四一五

再（松和） ☎〇四六八一四五―〇〇六一

511 野沢 宏 逗子市小坪二一六―二二五

（逗子B） ☎〇四六七―二五―六七四五

### 退会

406 福田義一（松和） 493 菅原喜代（一色）

### 指導者変更

新 若葉支部指導者 立澤御岳

旧 " " 千葉岳関

都合により右の通り若葉支部の指導者が立澤御岳に代わりました。

### 支部長変更

若葉支部長 土井貞岳より嵐田光風に変更

### 編集後記

今月は特別に会長千葉先生にお願いして受審者の心得等について原稿をいただきました。会員皆様のご参考になさって下さい。

文化の秋もいよいよ本番。地域毎に発表会等行事も多くなります。疲れを持ち越さないように頑張つて良い思い出を作して下さい。